

教育委員会執行事務の点検と評価

平成30年度

令和元年8月

智頭町教育委員会

目 次

1. はじめに	… P 1
2. 平成30年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点	… P 2～P 20
3. 教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員の在任状況	… P 21
(2) 教育委員会の会議の状況	… P 22
4. 附属機関の開催状況	… P 23
5. 参考資料	… P 24～

1. はじめに

教育委員会では、今後の課題や取り組みの方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図るため、教育委員会の事務・事業の点検・評価を行いました。

趣旨

平成20年4月に改正された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、新たに「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、議会に提出するとともに、公表しなければならない。」旨が規定されました。

これに基づき、智頭町教育委員会では、平成19年度から具体的な施策や主要な事業について、点検及び評価を実施することとしました。

今後の課題や取り組みの方向性を明らかにすることにより、教育行政施策の効果的な推進を図りたいと考えています。

実施方法

智頭町教育ビジョン及び智頭町子ども子育て支援事業計画に基づく前年度の具体的な施策及び主要事業を対象として、年1回の点検及び評価を実施しました。

点検及び評価は、前年度の事業等の実施状況を報告するとともに、課題や今後の取り組みの方向性を示すものとし、町教育委員会において点検及び評価を実施しました。

点検及び評価を行った後、その結果を取りまとめた事業評価書を智頭町議会へ提出するとともに、公表することとします。

根拠法令

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（昭和31年法律第162号）第27条（一部省略）

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

平成30年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題・問題点

主 要 事 業	平成30年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>《次世代育成事業》</p> <p>子育て支援センターの運営充実</p>	<p>子育て環境づくりを進めるため、子育て支援センターの運営を充実します。</p> <p>子育て講演会の開催 講座の開催 子育て相談 子育てサークルの育成 父親の子育て参加を促進</p>	<p>○</p>	<p>*月曜日から金曜日まで毎日開所し、乳幼児と保護者が共にゆったりと穏やかに過ごせる環境づくりに努めました。(年間延べ4,107名の利用者)</p> <p>*月1回『土曜開所』を行い、休日に親子がゆっくと過ごせる居場所づくりに努めました。父親の育児参加を促しましたが、父親の利用は86名に留まっています。</p> <p>*子育てママサークルと連携し、保護者主体の活動により子育て仲間同士のつながりを深めました。</p>	<p>*休日(土曜)開所日にイベントを企画することで、父親の育児参画と利用しやすい環境づくりを促します。また、利用促進に繋がるPRが必要です。</p> <p>*年齢に沿った環境づくりが不十分です。工夫をしながら異年齢児が楽しめる場所づくりを行います。</p> <p>*自然や季節感を取り入れた遊びにも工夫します。</p> <p>*保護者の子育て相談や困り感に寄り添い、的確にアドバイスできる関係づくりを行います。</p> <p>*子どもの発達や遊び、環境づくりなど、必要なスキルアップのための職員研修を行います。</p>
<p>ファミリーサポートセンター推進事業</p>	<p>会員の増加、利用件数の促進、働く人のサポートのため、利用しやすいシステムづくりの構築を図ります。</p>	<p>○</p>	<p>*塾・その他の習い事の送迎が最も多く、働くお母さんの支援の必要性を感じました。今後もニーズは高くなる傾向にあると思います。</p> <p>年間利用件数299件 (依頼会員118名・支援会員47名・両方会員6名)</p> <p>*会員研修を2回計画しましたが参加者は少なく内容・周知の方法に工夫が必要です。</p>	<p>*会員の整理をし会員数は減りましたが、支援内容に適した人材のコーディネートをしていきます。そのためにも支援会員の勧誘を行っていきます。</p> <p>*利用会員には子どもの様子を事前に記入してもらっていますが、利用の有無に関わらず毎年更新してもらうように周知します。</p> <p>*会員研修を周知し参加を呼びかけると共に、適切な支援が行えるようにします。</p>

平成30年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成30年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
放課後児童クラブの設置運営	保護者の就労保障と子どもの居場所づくりを支援します。児童の自主的な活動を促し、異学年の集団の中で養われる社会性や健全な心身の発育形成の一助とします。	○	<p>*児童クラブ保護者説明会（計4回） *支援員研修会（計3回） *野外活動 （夏休み野外活動・ピザづくり・クリスマス会・老人クラブとの交流会・6年生とのお別れ会） *支援員との話し合いを重ね、児童クラブでの子どもとの関わり方や、保護者との情報共有・連携の取り方を検討し、子どもたちの居場所づくりに努めました。 *智頭児童クラブでは、たよりを年4回発行し、保護者に子どもたちのクラブでの様子や支援員としての想いを伝えました。</p> <p>【登録児童数】H30.8.1時点 智頭：73人 土師：46人</p>	<p>*個性がそれぞれ異なる、異年齢の子どもたちが集うため、トラブルも多いですが、外遊び、室内遊び、学習空間など、部屋の使い方の工夫や活動の自由度を高め、児童の満足度が上がりました。 *土師クラブは保護者との連携が巧く取れていますが、智頭クラブは保護者会の開設・運営が困難であり、2つのクラブで保護者との関係性に偏りがあります。 *児童の安全確保と育成のため、指導員のスキルアップ研修が必要です。 *夏休み期間は利用ニーズが激増するため、臨時指導員を募集しますが、人材の確保が困難です。 *児童の個性や発達障がいなど、個々の特性を理解した対応が必要となるため、小学校との連携を図り、発達に応じたきめ細やかな対応が必要となります。</p>

平成30年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成30年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
育児支援家庭訪問事業	未就園児家庭の訪問等を通じて、育児支援が必要な家庭に対し、子育て経験者等による育児相談、家庭援助を行います。	○	*未就園児の全家庭を訪問し、養育支援を行いました。 *家庭訪問回数89回（内赤ちゃん訪問17家庭） *町の支援・施策についての紹介や子育て情報を提供しました。	*子育て不安のある家庭に対し、支援の方法について関係者（保健師・医療関係・支援センター等）と連携を強化します。 *乳児健診や離乳食講習会を利用して子育て支援センターへの利用を促し、孤独な子育てにならないよう配慮します。
家庭支援推進保育	就学前までの育ちや見通しを立て、児童の健全な発育を目指します。	○	*懇談会や研修を計画し、担任保育士や特別支援教育コーディネーター等と連携をとりながら、発達支援・保護者支援を行いました。 *家庭訪問等主な保護者支援は、担任保育士が行いサポートとしての活動となってしまいました。	*家庭支援推進保育士は重要な職務ですが、他業務との兼務なので保護者と密な関係性が摂りにくく、家庭の中に入り込んで支援することが難しい状況にあります。
森のようちえん事業	「すぎぼっくり」も新たに鳥取県の認証を受けました。豊かな森林を活用して自然環境を中心とした自然保育の中で、幼児期の健やかな育成を進めている森のようちえん事業を支援し、保護者の経済的負担の軽減を行います。	○	*児童1人当たりの月額単価により算定した補助金を交付し、運営を支援しました。 *第2子以降を対象とした保育料軽減事業により保護者の経済的負担の軽減に努めました。	*森のようちえんとのコミュニケーションを密にし、子どもたちの様子や、森のようちえんの活動内容の状況を把握し、連携に務めます。

平成30年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成30年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
ちづ保育園 保育事業	児童福祉法第39条の規定に基づき、園児の最善の利益を考慮し、健全な心身の発達及び保護者の就労を保障します。	○	<p>*以下の職員を配置し保育しました。</p> <p>0歳児 16名 担当保育士6名(内臨時保育士3名.補佐1名)</p> <p>1歳児 20名 担当保育士6名(内臨時保育士2名.補佐1名)</p> <p>2歳児 32名 担当保育士8名(内臨時保育士3名.補佐1名.障がい児加配1名)</p> <p>3歳児 41名 担当保育士4名(内補佐1名)</p> <p>4歳児 42名 担当保育士4名(内補佐1名.障がい児加配1名)</p> <p>5歳児 44名 担当保育士3名(内補佐1名)</p> <p>合計 園児195名</p>	<p>*0歳児から5歳児までの総合的な発達を捉え、安全・安心をいつも意識においた保育を行いました。</p> <p>*園内の職員の連携強化にも意識を置き、他学年との交流・連携にも意識的に取り組みましたが、未満児と以上児との保育観の統一等課題があります。</p> <p>*低年齢児の入園増加に伴う、保育士（有資格者）の確保が大きな課題です。</p> <p>*また、保護者との信頼関係、理解と協力・職員の連携で就学前の子ども達の発達保障及び家庭支援等、よりよい保育内容を創造していくことが課題です。</p>
	子どもたちの持っている力を活かしながら、望ましい未来をつくり出す力の基礎の育成のため、養護と教育を一体的に行います。	○	<p>*保育指針の改定に伴い、全体的な計画を基に、年間保育計画他の計画とのつながりを意識した計画立案に努めました。</p> <p>*園内研修・公開保育・食育研修・その他専門性を高める研修会に積極的に参加し保育実践につながる保育内容の創造に努めました。</p> <p>*保育計画・食育計画のもとに、臨時職員と保育観を統一し、子ども一人ひとりの発達に応じた保育環境を整え、保育の質を高めていきました。</p> <p>*全職員での園内保育研修・同和問題研修などを実施し、人権感覚を高めるよう努めました。</p> <p>*保育士と調理師との連携強化に努め、食育での子どもの育ちを支える意識向上に努めました。</p>	<p>*あらゆる研修情報を提供すると同時に、保育の専門性を高める研修・資質向上の機会を作り、年齢別に臨時職員も含め子どもの発達に応じた研修を深めてきました。外部研修会には、時間的、人間的に難しいことがあるため、研修体制を整えることが課題です。</p> <p>*研修を積み重ねるだけに終わらず実践に移し、保育の質を高めていくことが必要で、自己評価を基に保育内容の質を向上させることが課題です。</p> <p>*職員の人数も多く、年齢のバランスも悪く価値観のずれもあるため、保育を同じ目線で考える意思統一が課題です。</p>

	家庭・地域とも連携しながら、小学校への望ましい接続を図ります。	△	<p>* 保育園・小学校の連絡会を開催し、育ちと学びをつなぐ接続を図りました。特に、支援を必要とする児童に対しては、小学校・保育園・保護者がきめ細かく情報を共有し共通理解に努めました。</p> <p>* 保育を公開する機会を設け、小学校及び家庭の理解を得ると同時に、地域の要請に応じて交流を深めました。</p>	<p>* 小学校との交流・連携を図ると共に、情報共有をしています。保・小連携夏季公開保育では、保育参観・体験を通して就学前の育ちを公開し、保育園での活動が小学校へどうつながっているのか連携を深めましたが、参加される先生も年々減る傾向にあるのが課題です。</p> <p>* アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの接続等、指導主事との連携を図り、保小の連携強化につなげていくことが課題です。</p>
ちづ保育園 家庭支援事業	保護者の意向を受け止め、子どもと保護者の安定した関係に配慮しながら、望ましい子育てを支援します。	○	<p>* 同和保育を理解し、人権意識を高める職員研修を実施しました。</p> <p>* 園児一人ひとりの生活とその背景を把握し、保護者の思いにより添った信頼関係の構築、育児支援の推進を目指しました。</p>	<p>* 全職員対象の同和問題研修会を計画的に実施しました。</p> <p>* 3歳未満児は家庭訪問を主に、3歳以上児はクラス懇談の他、年2回の個人懇談を実施し、保護者とのより良い関係作りをしていきながら、信頼関係を築き、育児に対する不安など、より適切な育児支援ができるような職員の対応が必要（課題）です。</p>
	一人ひとりの全面発達を保障します。	○	<p>* 職員間の共通理解を図り、家庭とも連携しながら、必要な支援・発達を促す有効な保育内容を創造して実施しました。</p> <p>* 発達に関する研修と実践を重ねながら、専門機関と連携し、支援を展開しました。</p>	<p>* 園児が安定して過ごせるよう、支援を必要とする園児等について、早期支援教育コーディネーターに指導助言を受けながら、園全体で取り組み実践を重ねました。今後も、個々の実態に合わせた定期的な指導助言が必要であり、保護者理解について研修を深めることが課題です。</p>
ちづ保育園 病児・病後児保育事業	病気又は病気回復期の園児を保育（看護）することで、保護者の子育てと就労の両立を支援します。	◎	<p>* 看護師1名を配置し、智頭病院小児科の受診で集団保育が適さないと診断された病気又は病気回復期の園児を保育（看護）し延べ人数191人の利用がありました。</p>	<p>* 専任の看護師を主に実施し、複数の利用の場合や、病状による複数の部屋を利用する場合は、他の職員で対応をしましたが、利用希望の多い日は対応し切れない日もありました。小児科医の協力及び連携が課題です。</p>
ちづ保育園 一時預かり保育事業	未就園児を預かり、子育ての負担軽減を図るなど子育ての支援を図ります。	◎	<p>* 保育士1名を配置し、一時的に保育園に預けることを必要とされた未就園児を保育しました。</p> <p>* 今年度の新規登録人数12名、利用人数は15名。年間延べ利用人数29名利用合計日数は181日でした。</p>	<p>* 2歳児以上は、同学年のクラスで受け入れクラスを固定したことで、親子共に安心して利用してもらえました。行事等と重なり、受け入れ困難な日も、保護者の理解を得て調整できました。</p>

平成30年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成30年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>《小中学校教育の充実》</p> <p>智頭町学力向上推進事業</p>	<p>学校、家庭、地域や関係機関が連携連帯し児童生徒の指導にあたります。</p>	<p>◎</p>	<p>* 智頭町小学生英会話教室を開催し、国際感覚豊かな人材の育成や、土曜日における教育環境の充実をめざしています。今年度は智頭町ALTと近隣在住のネイティブスピーカー、日本人講師に英会話レッスンを開催していただきました。参加対象を「1～3年」「5・6年」とし、月に2回の開催としました。レッスンを重ねる中で、英語を使って話すことに慣れ、外国人の方とのコミュニケーションに気後れすることなく積極的に関わる姿が見られています。特に低学年には楽しく慣れることができています。</p> <p>* 授業力アップ研修会を県の図書館活用教育普及講座とタイアップして実施しました。教育課程で図書館教育が重視されポイントを共有できました。また、探求的な学習のための図書館活用を実践を通して学びました。</p>	<p>* 参加人数も一定数あるが、参加のない学年もあるため、小学校にも協力を依頼し、参加意欲の向上を図ります。新規任用ALTにも参加を促し、小中学校での授業力アップと児童との交流が図れるようにしたいと思えます。</p> <p>* 智頭町が進めている授業力アップ研修会は、先生方のニーズに応じるものを提供し、専門家や実践を豊富に持つ講師を招いて具体的指導が受けられる体制にしたいと考えます。また、小中学校教員の交流を図り、相互の教育について情報交換できる機会にしたいと考えます。</p> <p>* 全国的な流れや新たな取り組みを学べるような研修の構築が求められます。</p>
<p>指導主事の設置</p>	<p>0歳から15歳を見通した教育の推進、小・中学校教育の充実、家庭教育の推進を図るため事務局に専門的な知識と技能を有する指導主事を設置し、学力指導も含めその推進・充実を図ります。</p>	<p>○</p>	<p>* 主に学力向上や生活習慣の改善、保小中連携を推進するため、各学校園、専門部会等での指導助言を行うとともに、幅広い分野で学校支援をしています。小中学校教員がお互いの授業を公開、参観しあうように努めたり、小中合同授業研究会で研究を深めたりして、学力向上へ向けた取り組みを進めています。</p>	<p>* 保小中の連携や一貫した取り組みの強化が求められています。智頭教育会との連携で、学校園の交流をさらに進めたいと考えます。</p> <p>* 「とっとりの授業改革【10の視点】」をもとに、学校での授業力向上を具体化し、ICT環境を生かしながら、小学校の学びを中学校につなげることで、児童生徒の学力が向上するよう努めたいと考えます。</p> <p>* 改訂版智頭町教育ビジョンの内容を周知し、学校現場で具体的な実践が展開できるように努めます。</p>

平成30年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成30年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
マイクロバス等管理事業	学校教育や各種団体活動の移動手段としてマイクロバスによる支援を行います。	○	*学校教育の支援と、教育関係団体の研修等への活用が増加するなど、効果が発揮できました。	*適切な維持管理を行い、幅広く活用できるようにしていきます。 *特に校外学習、部活動大会で活用されています。
小学校管理事業	児童及び教職員の活動の場として学校施設の維持管理と、教育環境の整備を行います。	○	*智頭小学校の施設の維持管理を行いました。 *学校現業職員を配置しました。 *空調の増設工事を発注し、よりよい環境で活動できるように整備を進めました。	*智頭小学校について教育施設としての機能を維持していきます。
小学校教育振興事業	「生きる力」の育成と人間性を育む「心の教育」を行い、生活習慣の確立を図り、児童一人ひとりを大切に教育活動を行います。	○	*通学費、修学旅行費などの補助や就学援助を通して、保護者の負担軽減を行いました。 *ICT機器の維持管理を行い、学習への活用を図りました。 *学校司書、特別支援教育支援員を配置し個々の学習にあった体制整備を図りました。	*継続して、生活習慣の確立と学力の保障を行っていく必要があります。
学習支援・生活支援員の設置	小学校での活動に際し、学習・生活に支援が必要な児童のため支援員を配置します。	◎	*智頭小学校特別支援学級を中心に7名の支援員を配置し、学習支援の充実を図りました。通常学級での支援を要する児童にも、適切に対応することができました。	*通常学級も含め支援が必要な児童が増加している傾向にあります。今後も支援の必要な状況を見極めながら、適切に対応するよう努めます。
特別支援教育総合推進事業	早期支援コーディネーターを配置し、支援が必要な幼児児童生徒へ早期に関わりを持ち、継続した支援を行う活動を行います。	◎	*早期支援コーディネーターを配置し、のびっ子相談や保育園、小中学校の定期訪問とおし、支援が必要な児童生徒への早期の関わりにより、その後の学習や生活への適切な適応に結び付ける活動を実施しました。	*専門知識を有する支援コーディネーターの活用により、保護者からの相談受け付けや情報提供がスムーズに行われています。現場の教職員の更なる資質向上に結び付く事業としていきます。支援が必要な幼児児童生徒への早期の関わりを持つため、保育園での支援や活動を効果的に実施していく必要があります。

平成30年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成30年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
創造的な学習支援事業	総合的な学習や体験的な学習の充実を図ることにより、ふるさとを知り、ふるさとを愛し、進んで本町に関わる子どもを育てていきます。	○	<ul style="list-style-type: none"> *各地域の歴史文化をはじめとして特色を学び、郷土愛を醸成することができました。 *地域内講師（ゲストティーチャー）による民芸や林業など独自の学習を実践しました。 *地域の次代を担う子どもの育成が図れました。 	<ul style="list-style-type: none"> *小学校では、地域の人材活用をさらに進めることで、新たな学校風土が築き上げられることが期待されます。 *中学校では、キャリア教育との視点から、地域とつながりのある活動が引き続き行われていますが、年度ごとに取組が継続されるような方策が必要です。
小学校同和教育研究事業	差別に気づき、差別を見逃さない、差別に負けない、人の痛みがわかる児童の育成と人権を尊重する教育の充実を図ります。	○	<ul style="list-style-type: none"> *地区学習会を開催しました。 *学習のみならず、生活習慣や差別のない社会を目指し、差別に負けない学習が展開されました。 *同和教育のみならず、広く人権に関わる問題についても学んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> *地区学習会事業以外にも、総合的な学習や学校行事など、人権について学べる機会をさらに増やすようにしていきます。
中学校管理事業	生徒及び教職員の活動の場として学校施設の維持管理を行います。	○	<ul style="list-style-type: none"> *適切な管理により長期運用をめざします。 *学校現業職員、学校司書を配置しました。 *空調の増設工事を発注し、よりよい環境で活動できるように整備を進めました。 	<ul style="list-style-type: none"> *教育施設としての機能を維持していきます。
中学校教育振興事業	「生きる力」の育成と人間性を育む「心の教育」を行い、基礎基本を徹底させ、生徒一人ひとりを大切にしたい教育を行います。	○	<ul style="list-style-type: none"> *地域の講師を招聘し、茶華道・野球・男女バレーボールの部活動の活性化を図りました。 *教育の機会均等を図るため、通学費、修学旅行費、就学援助費等で、生徒と保護者負担の軽減を図っています。 	<ul style="list-style-type: none"> *自立心と自律的な態度が育つように、生徒の実態に応じた効率的な教育活動を支援していきます。 *やさしさとたくましさ兼ね備えた生徒を育成するため、教職員の授業力の向上をめざします。

平成30年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成30年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
外国語指導助手招致事業	児童・生徒が生きた外国語に直接ふれることにより、興味と関心を持ち国際理解と学習意欲の向上につなげます。	◎	<p>* 中学校と小学校を担当するALTを配置しました。</p> <p>* 中学生においては、英語の授業で会話の機会を増やし、聞く力、読む力を中心に高めました。国際化に対応した異文化の知識も広げることができました。</p> <p>* 小学生は、3・4年生の外国語活動、5・6年生の外国語科を先行実施し、ALTと担任による授業の流れを多くの先生が体験できました。</p>	<p>* 2名体制となったALTの有効活用により、中学校では的確に話す力、適切に書く力の向上を、小学校では段階的に外国語の素地づくりを進めます。</p> <p>* 保育園への訪問も、計画的に実施し、ALTとの交流を進めるとともに英語への関心を高めます。</p>
スクールソーシャルワーカー活用事業	生き生きと勉強や各種活動に取り組む児童生徒の育成と、問題行動解決につなげます。	○	<p>* 児童生徒の問題行動やストレス、不安を解消するため、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの連携を密にし、校内支援会議等で具体的な方向性を見出しました。</p> <p>* 不登校を未然に防ぐ支援を担当とともに進めました。</p>	<p>* スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーに加えて、早期支援コーディネーターとの連携も進め、学校・家庭への支援をより円滑に進めるようにします。</p>
地域に学ぶワクワクちづ事業	職場体験活動を通して地域社会に学び自らの進路について主体的に考える人間形成の場とします。	◎	<p>* 2年生が3日間にわたり町内の21事業所で職場体験を行いました。仕事の厳しさや将来の夢を見つめる機会となっており、キャリア教育の推進となりました。</p>	<p>* 協力していただける事業所の確保を今後も進めていきます。</p> <p>* キャリア教育の視点から将来の夢や希望となるよう実施前後での十分な準備と活かされ方を工夫します。</p>
中学校同和教育研究事業	差別に気づき、差別に負けない、人の痛みのわかる生徒の育成と人権を尊重する教育の充実を図ります。	○	<p>* 生徒の身の回りの生活改善はもとより、差別のない社会の実現を図るため、学習に加えて基本的な生活習慣確立や人権問題を考える機会となっています。</p>	<p>* 小学校での学びの上に立ち、中学校での人権学習での学びが、生徒の生きる力となるよう、また日常の生活の中で実践化されるよう支援していきます。</p>

平成30年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題・問題点

主 要 事 業	平成30年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
《社会教育の充実》 社会教育委員	社会教育の振興を図るために社会教育委員会を開催します。	△	* 社会教育委員会の開催に向け、東部地区市町村社会教育担当者研究協議会へ参加し資質の向上と情報の収集に努めました。	* 委員会を今後定期開催していく必要があります。
文化財保護事業	町内文化財の調査・研究を通じて、町内に点在する文化財の掘り起こしと保護と活用を図ります。	△	* 町内文化財の掘り起こしとして、「智頭の林業関係資料」調査研究を行いました。 * 重要文化的景観「智頭の林業景観」選定記念として、シンポジウムを開催しました。	* 無形文化財の掘り起こしも地域と連携して進めたいと考えます。 * 未開催である審議会の委員を選出し、今後開催していく必要があります。
文化振興事業	町民の文化意識の高揚と地域の文化の振興を図るため、文化協会並びに協会加盟団体の活動支援と智頭町文化祭など各種文化事業を推進します。	○	* 智頭町文化祭 延べ来場者数人370人 内訳：展示の部 10/27(土)・28(日) 180人 前夜祭ライブ 11/10(土) 40人 芸能の部 11/11(日) 150人 * 第21回ふれあいコンサート11/25(日)133人 * 智頭町文化協会（19団体）及び各種文化活動の支援	* 町内文化事業の担い手の高齢化が進み、熟練の域にある一方、若年世代の参加・継承等が課題です。 * 文化祭は智頭町文化協会への委託事業です。文化祭のあり方を再検討し、町民への作品展示・芸能発表はもとより、他団体の作品・芸能の認め合いと掘り起こしが必要です。 * 補助事業であるふれあいコンサートは、良質な音楽を町民に提供するという趣旨をひまえ、今後も幅広いジャンルのアーティストを招へいしていきます。
町成人式	町の将来を担う新成人者を町を挙げて祝福し、成人の自覚と町への愛着を醸成します。	○	* 新成人等で構成した実行委員の企画による「智頭町成人式」を開催しました。式典終了後に実行委員（新成人）の進行で祝賀会を開催しました。 平成31年1月6日開催…参加者数45人	* 対象新成人の自主的な企画による成人式を今後も継続しつつ、成人者としての自覚を持てる企画を来年度に向けて検討します。
社会教育事業 (婦人団体・青少年の育成)	婦人団体の活動支援と青少年育成推進指導員協議会を通じた育成事業などを実施し、青少年の健全な育成を推進します。	○	* 智頭町青少年育成推進指導員協議会（15人）の委託事業 サマーキャンプ（船上山少年自然の家）40人 夏・冬子どもおやつ作り教室（ほのほの）64人 チャレンジ教室（智頭町総合センター）3人 新春書き初め大会（智頭町総合センター）33人参加 * このほか、町連合婦人会、婦人団体連絡協議会、杉の子塾の活動費補助を行いました。	* 杉の子塾を含めた町内の青少年育成団体との事業連携・調整を図ります。

平成30年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成30年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
家庭教育学級事業	社会環境の変化により地域のつながりが希薄となり、家庭・地域の教育力が低下する中で、国の支援事業を活用して家庭教育の学習機会を提供します。	○	<ul style="list-style-type: none"> * 「機関紙ひだまり」を作成し、テーマ等を変えながら保・小・中学校の各家庭に配布しました。 * 関係機関で参観日等を活用し、家庭教育学級（PTA研修会等3回）を開催しました。 * 「家庭教育講演会」としてみんなの学校の上映会を開催しました。 	* 家庭教育については、保護者への粘り強い啓発が必要で、特に講演会・研修会等へ参加しない人への働きかけが課題となっています。
遺跡発掘事業	埋蔵文化財の保護と智頭枕田遺跡の調査・研究・活用を行います。	○	<ul style="list-style-type: none"> * 町内開発計画への対応を行いました。 * 土器づくり教室・文化祭への展示、土師公民館祭への出店を行い、町民理解に努めました。 * 智頭町埋蔵文化財センターで智頭枕田遺跡出土品の展示、綾木長之助の展示を行いました。 	* 先人の記録である「遺跡」の価値を現在の智頭町民に正しく伝えるために、研究（ハード）と展示や体験などの活用（ソフト）をバランス良く行っていくことが重要です。

平成30年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成30年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
地区公民館事業	地域における生涯学習・文化・スポーツ活動等の地域活動拠点施設として、住民主体の地域づくり運動の充実をめざします。	○	*地区公民館活動の運営を委託し、地区住民の社会教育活動等の事業を実施しました。 *委託料4,994千円 総事業費26,902千円	*老朽化等による施設の修繕が緊急の課題です。 *中央公民館との連携、地区振興協議会との協働を通じて、幅広い社会教育活動の展開が求められています。
歴史の道整備活用推進事業	平成8年に文化庁から「歴史の道百選」に選定された智頭往來を整備すると共に保存・活用します。	○	*史跡智頭往來志戸坂峠越災害復旧の測量設計を行った。(繰越) 総事業費20,120千円	*整備計画を見直し、国史跡として全線指定されるよう努めます。 *国史跡指定を契機に、観光交流の視点でも活用することが必要です。 *岡山県西粟倉村との連携が必要と考えます。
板井原集落整備活用推進事業	板井原集落を「伝統的建造物群保存地区」(鳥取県選定)として保存計画に基づいた修理事業と活用事業を行います。	△	*集落内建築物1棟の改修を助成し、景観保全を図りました。	*継続的に集落の景観保全を図るとともに、集落保存協議会と連携した地域振興事業を行う必要があります。 *特に開発事業との調整は今後とも注意を払う必要があります。 *国の選定をめざします。
石谷邸保存活用整備事業	一般財団法人因幡街道ふるさと振興財団へ指定管理委託し、文化財としての観光拠点施設として管理運営を行います。	○	*石谷家住宅の管理運営を引き続き一般財団法人因幡街道ふるさと振興財団へ指定管理委託しています。 委託料 10,000千円 入館者実績 H30・22,440人 *県指定名勝である石谷氏庭園の維持管理を行いながら、年2回の庭園特別公開を通じて情報発信に努めました。	*智頭宿のまちづくり拠点施設として積極的に関わることが必要です。 *平成13年の一般公開から随所に補修箇所が見られることから、計画的な維持管理が必要です。

平成30年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成30年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>《社会体育の充実》</p> <p>スポーツ推進委員</p>	<p>各地区から選出された18名で構成されるスポーツ推進委員により、町民体力づくり事業の普及・振興と町体育事業への参画及び推進委員としての資質向上のための県内体育事業等へ参加します。</p>	<p>○</p>	<p>*中国地区スポーツ推進委員研究大会に8名参加しました。「智頭町スポーツ推進委員協議会のとりくみ」をテーマに実践発表を行いました。(開催：広島市) *上記の他、智頭町体育協会、スポねっとちづの主催する事業に参画しました。</p>	<p>*町の体育事業への参加はもちろんですが、スポーツ推進委員としての具体的な活動内容を考え、自発的に体育振興の充実を図る主体となることが求められます。 *スポーツ推進委員としての役割を明確化し、共有することで、めざすビジョンを明らかにする必要があります。</p>
<p>体育振興事業</p>	<p>智頭町体育協会を中心に町民の健康づくりや生涯スポーツ活動に寄与する体育事業を展開します。またスポねっとちづは、運動能力の向上や仲間づくり、他者への思いやりの心を育むことを目標にスポーツ普及を推進します。</p>	<p>○</p>	<p>*体育協会への活動支援による各種スポーツ大会等を実施しました。(町民体育祭、バレーボール大会、グラウンドゴルフ大会等) 団体数：8 *総合型地域スポーツクラブ” スポねっとちづ”への活動支援によるスポーツ環境の整備拡充を図りました。(クラブ数：8) 会員数：133名 *ガイナレ鳥取からからコーチ陣を招き、サッカー教室を開催しました。(参加者：60名) *トップアスリート育成支援事業費奨励金を、13件(延べ15名)に対し750千円を交付しました。</p>	<p>*体育振興をより活性化させるため、町内の体育関係団体の連携を密にし、それぞれが協力をしあって活動する必要があります。</p>
<p>体育施設管理事業</p>	<p>スポーツ活動や健康づくりの場となる体育施設の適正な管理と環境整備を進めます。</p>	<p>○</p>	<p>*各体育施設の維持管理を行っています。 *総合運動場法面土砂崩落災害復旧工事を行いました。 *智頭温水プールの管理運営を(株)エヌ・エス・アイへ指定管理委託しています。 委託料 19,151千円 *智頭温水プールの給水ポンプ外修繕事業を行いました。</p>	<p>*町の中核体育館として、勤労者体育館を様々な年代、性別、障がいの有無にかかわらず使用していただけるような体育館として整備を進める必要があります。</p>

平成30年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成30年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
<p>《図書館事業》</p> <p>図書館</p>	<p>図書館サービスを充実させ、個人の利用を増やします。また、保育園や学校へのサービスにも努めます。</p> <p>目標…貸出冊数 50,000冊</p>	<p>○</p>	<p>*カウンター業務を中心にしながら、保育園図書室、学校図書館等と連携し、団体への貸出の搬送もしています。</p> <p>利用登録者数…個人4,217名(新規130名)、団体72団体</p> <p>貸出冊数…55,512冊(個人41,920冊、団体13,592冊)</p> <p>リクエスト件数…5,069件</p> <p>レファレンス件数…579件</p> <p>学校支援件数…92件</p>	<p>*一人でも多くの住民に図書館サービスを知ってもらい、図書館を利用してもらうことが課題です。</p> <p>*学校図書館や保育園図書室の読書環境を整備したことにより、公共図書館を利用する子どもが増えています。それにより一緒に来館する大人の積極的な利用につながるよう取り組んでいきます。</p>
<p>おはなし会事業</p>	<p>読書への入り口として、幅広く参加してもらえるようおはなし会を開催します。</p> <p>目標…参加人数 900名</p>	<p>○</p>	<p>*福祉課栄養士や学校司書等との連携による定例おはなし会や、小学校他での出張おはなし会、季節のおはなし会を実施</p> <p><実施回数></p> <p>定例おはなし会 12回 145名</p> <p>季節のおはなし会 4回 44名</p> <p>出張おはなし会 29回 743名</p>	<p>*定例おはなし会の参加人数が減少しているため、子育て世代の興味や関心を高める工夫をしていきます。</p> <p>*家庭での読書活動につながる取り組みにしていきます。</p> <p>*学校でのおはなし会では、ブックトークなど、読書意欲の育成に効果のある内容に取り組んでいきます。</p>
<p>ブックスタート</p>	<p>ブックスタートが家庭での読みきかせにつながるよう、啓発を工夫していきます。</p>	<p>○</p>	<p>*対象者に絵本を手渡し、読みきかせやわらべうたでふれあいの時間を持つようにすすめました。対象者…33名</p> <p>*フォロー事業として実施しているおはなし会は、未入园児の減少もあり参加者減となっています。</p>	<p>*保護者に、乳幼児に対するメディアの影響やわらべうたの効用などを伝えます。保護者が子どもとともに絵本に出会えるような会の開催を検討します。</p>

平成30年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成30年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
子どもと本を知る講座	子どもに関わる大人に、子どもと本に対する関心や知識を深める講座を実施します。 目標…講座参加人数 100名	○	<p>*第1回 6月15日 95名参加 「子どもたちを育む学校図書館～保護者としてできること～」 講師：伊藤善則氏（鳥取市立図書館運営協議会委員）</p> <p>*第2回 2月19日 35名参加 「わらべうたを楽しむ」 講師：脇本幸子氏（岡山わらべうたの会代表）</p>	<p>*学校の参観日研修などと連携し、忙しい子育て世代が参加しやすいように、学校教育担当者や家庭教育担当者との協力体制を深めていきます。</p> <p>*講座の対象者は入れ替わっていくため継続した取り組みが必要です。</p>
図書館まつり事業	図書館を身近に感じ、親しみを持ってもらうことを目的に開催します。	○	<p><図書館まつり2018> *11月17日 人形劇公演 92名参加</p> <p>*11月18日 図書館まつり 118名参加 「智頭歴史トラップ・将棋・囲碁・オセロで対決」「智頭図書館クイズラリー」「本のリサイクル市」「紙粘土工作教室」「おはなし会」コーナー設置 図書館を考える会によるバザー実施</p>	<p>*図書館に関心を持ってもらうために、さまざまなイベントを実施します。</p> <p>*人形劇は毎回昔話を題材にした作品を上演しています。</p>
あたまイキイキ音読教室 出前音読講座	高齢社会の中で、住民の「健康長寿」を応援することを目的に、図書館や地域で音読事業を実施します。	○	<p>*あたまイキイキ音読教室 毎月第2金曜日開催12回 合計90名</p> <p>*出前音読講座 3回 合計45名</p>	<p>*日常の健康づくりのヒントとして、音読教室の活用を呼びかけていきます。</p>

平成30年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成30年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
連携講座・講演事業 他	講座・講演会などを企画し、開催します。	○	<ul style="list-style-type: none"> *自由研究おたすけ教室 7月25日 12名参加 教育委員会指導主事指導のもと、自由研究の進め方や、自由研究に必要な資料相談、貸出を行い子どもたちの助けとなる教室を開催 *子ども司書体験教室 8月8日、9日 延べ24名参加 図書館の仕事を体験、新しい図書館について子ども司書会議を実施 *スタンプラリー 10月27日～11月18日 1冊本を借りるごとに1個スタンプを押し、10個集まったらくじ引きをしプレゼントが当たるスタンプラリーを実施 	<ul style="list-style-type: none"> *講座や事業を実施し、新たな利用者の開拓や、図書館の利用に繋げていく必要があります。 *日常の図書館利用にも楽しみを加える事業を計画していきます。
昔話伝承事業	智頭の昔話を保存し、継承していくために、昔話に親しみ、関心を深めるような事業を実施します。	△	<ul style="list-style-type: none"> *音読教室や出前音読講座で、昔話をテキストにし、参加者で音読を実施 *昔話を題材にした人形劇を選んで上演 	<ul style="list-style-type: none"> *音読教室や出前音読講座を通じて、大人への宣伝に努めました。今後は町内で、昔話を伝えるボランティアを養成していく必要があります。 *平成30年度実施できなかった智頭の語り手による「昔ばなしのへや」を次年度は開催します。

平成30年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成30年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性
新図書館建設事業	<p>平成29年度に策定した新智頭図書館整備基本構想、基本計画をもとに全国公募のプロポーザル方式による設計者選定をする。</p> <p>また、引き続き住民ワークショップを開催し、新しい図書館がすべての住民に親しんでもらえる「智恵と和の広がる図書館」となるような新図書館設計を完成させる。</p>	◎	<p>*みんなで考える「私たちの新しい図書館」第3回住民ワークショップ 9月17日開催 参加者49名 傍聴者10名 総勢74名（設計者、事務局他を含む）</p> <p>*みんなで考える「私たちの新しい図書館」第4回住民ワークショップ 10月8日開催 参加者49名 傍聴者7名 総勢71名（設計者、事務局他を含む）</p> <p>*みんなで考える「私たちの新しい図書館」第5回住民ワークショップ 12月2日開催 参加者56名 傍聴者6名 総勢77名（設計者、事務局他を含む）</p> <p>*新智頭図書館設計完成 3月 *図書館アドバイザーとの協議 *設計会議 *プロジェクトチーム協議</p>	<p>*今後、新智頭図書館の建設工事を進めていきますが、現状では、全国的な資材不足による工期延長が見込まれます。</p> <p>*新智頭図書館におけるサービス計画を策定します。</p> <p>*住民がさらに図書館に親しみ、新しい図書館の利用へとつなげられるよう取り組みます。</p>

平成30年度の主要事業・評価・主な取組状況・課題問題点

主 要 事 業	平成30年度目標	評価	主な取組状況及びその成果	今後の課題・問題点と方向性																																
<p>《学校給食事業》</p> <p>学校給食</p>	<p>学校給食は教育の一環であり、食事マナー、健康増進、地産地消、食文化の理解など、生涯を通じて健康であり続けるための「食」の基礎を身につけます。</p>	<p>○</p>	<p>* 衛生管理に努め、栄養バランスのとれた、安全で安心なおいしい給食を提供しました。 小学校 58,524食 中学校 25,658食</p> <p>* 学校給食食材の県内産地産地消率は77%となり、今後も高水準の維持を目指し、地元食材グループ、JAいなば智頭支店と連携を密にしながら地産地消を推進しました。</p> <table border="0"> <tr> <td>H24年度</td> <td>77%</td> <td>H25年度</td> <td>73%</td> </tr> <tr> <td>H26年度</td> <td>68%</td> <td>H27年度</td> <td>85%</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>83%</td> <td>H29年度</td> <td>83%</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>77%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>* 学校給食費の徴収を給食協議会と連携することで、未納はありませんでした。</p> <p>* 栄養士食育活動により子どもたちへの食育指導は大幅に充実し、子どもたちだけでなく職員、保護者を含め給食時間、T・T授業、個別栄養相談、クラブ活動など学校全体で食への関心が高まってきました。</p> <table border="0"> <tr> <td>H24年度</td> <td>136回</td> <td>H25年度</td> <td>162回</td> </tr> <tr> <td>H26年度</td> <td>123回</td> <td>H27年度</td> <td>128回</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>146回</td> <td>H29年度</td> <td>152回</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>145回</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>* 生産者と児童との交流給食の実施</p>	H24年度	77%	H25年度	73%	H26年度	68%	H27年度	85%	H28年度	83%	H29年度	83%	H30年度	77%			H24年度	136回	H25年度	162回	H26年度	123回	H27年度	128回	H28年度	146回	H29年度	152回	H30年度	145回			<p>* 食材グループ、JAいなば智頭支店の関係者に作付け予定品目と収穫時期などの調査を行い、地元食材の活用を行ったが、さらに品質の高い農作物生産に向けて、関係者との連携が必要であると考えます。また、年度当初に鹿肉解体施設（ちづDeer's）が新設されたことに伴い、6月から毎月1回、ジビエ給食として鹿肉を給食に提供した。今後も月1度は、鹿肉を使用したジビエ給食を提供できればと考えています。</p>
H24年度	77%	H25年度	73%																																	
H26年度	68%	H27年度	85%																																	
H28年度	83%	H29年度	83%																																	
H30年度	77%																																			
H24年度	136回	H25年度	162回																																	
H26年度	123回	H27年度	128回																																	
H28年度	146回	H29年度	152回																																	
H30年度	145回																																			
<p>食育推進事業</p>	<p>学校給食センターが、町の食育推進の中核として食育の研究、住民への啓発を行ないます。</p>	<p>○</p>	<p>* 学校給食週間（1月）に給食展を開催、住民への啓発を図りました。</p> <p>* 児童生徒、家庭の食への関心、知識を高めるため食育を積極的に推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食育だより「きゅつちゃん ぼこちゃん」の発行 ・ きゅうメールの町ホームページ掲載 ・ 中学生ワクワクちづの受け入れ ・ おやつ料理教室の開催 ・ 八頭郡食育だより「すくうるらんち」の発行 ・ 小学校、中学校保護者試食会における栄養士の講話 ・ 我が家の自慢料理募集 	<p>* 給食展等への理解、啓発も徐々に図られており、更に住民への浸透を図るよう検討を進めていきます。</p>																																

評価の基準

◎ (順調)	優れた取り組みや状況が見られ、課題はほとんどなく、順調に目標が達成された。
○ (概ね順調)	よい取り組みや状況が見られ、若干の課題はあるが、概ね順調に目標が達成された。
△ (やや順調でない)	課題がわずかながらあり、目標達成がやや順調でないもの、又は一定の成果はあったが新たな課題が生じたもの。
× (順調でない)	課題が多く、まだ改善に向けた取り組みに着手できていないか、着手してもほとんど成果がないなど、目標がほとんど達成できなかったもの。

3. 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員の在任状況

(平成31年3月31日現在)

役職	氏名	在任期間	備考
教育長	長石彰祐	平成29年4月1日～令和2年3月31日	再任
教育長 職務 代理者	米井照世	平成30年10月1日～令和4年9月30日 教育長職務代行：任期 平成30年10月1日～	再任
委員	酒本弘道	平成29年10月1日～令和3年9月30日	再任
委員	平井早苗	平成28年10月1日～令和2年9月30日	再任
委員	徳永起宏	平成27年10月1日～令和元年9月30日	

1) 教育長等の異動

- ・平成30年9月30日をもって米井照世教育長職務代理者が任期満了となりましたが、引き続き平成30年10月1日より米井照世委員が教育長職務代理者に選任されました。

2) 委員の異動

- ・平成30年9月30日をもって米井照世委員が任期満了となり、平成30年10月1日に選任（再任）されました。

(2) 教育委員会の会議の状況 (概要)

- ・教育委員会 定例委員会 12回 臨時委員会 1回
 - ・議案 33本 報告事項 43本 協議 3本

- ・学校・保育園他訪問 7回
 - ・定例委員会と同日実施

- ・委員研修会 3回
 - ・鳥取県市町村教育委員会委員研究協議会 倉吉市
 - ・鳥取県市町村教育委員会委員研修会 倉吉市
 - ・鳥取県東部地区市町教育委員会研究協議会 岩美町

- ・その他
 - ・保育園、小学校、中学校入学卒業式
 - ・智頭教育会出席
 - ・智頭町保小中高PTA 連合会との意見交換会
 - ・各小中学校および各地区公民館運動会の視察 他

4. 附属機関の開催状況

教育委員会附属機関会議の開催状況

・ 智頭町社会教育委員会	0 回
・ 智頭町文化財保護審議会	0 回
・ 智頭町伝統的建造物群保存地区保存審議会	0 回
・ 智頭町スポーツ推進委員協議会	12 回
・ 智頭町青少年育成指導員協議会	8 回
・ 智頭町立智頭図書館協議会	2 回
・ 智頭町図書館づくり検討委員会	0 回
・ 智頭町学校給食センター運営委員会	1 回

資 料 編

(資料) 平成30年度教育委員会の会議の状況 (詳細)

4月定例委員会 (4月10日)

議案 (6)

- ・ 早期支援コーディネーターの委嘱について
- ・ 智頭町立智頭図書館管理運営規則の一部改正について
- ・ 智頭町立小・中学校主任等の任命について
- ・ 準要保護児童生徒の追加認定について
- ・ 準用保護児童生徒の追加認定について
- ・ スクールソーシャルワーカーの委嘱について

報告 (4)

- ・ 平成30年度教育委員会体制、幼児指導生徒数について
- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育・中央公民館事業について
- ・ 図書館事業について

5月定例委員会 (5月16日)

議案 (3)

- ・ 新智頭図書館設計業務プロポーザル審査委員会要領の制定について
- ・ 智頭町保育所入所等事務取扱要領の一部改正について
- ・ 準要保護児童生徒の追加認定について

報告 (5)

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育・中央公民館事業について
- ・ 図書館事業について
- ・ 新智頭図書館設計業務プロポーザルのスケジュールについて
- ・ 放課後児童クラブについて

6月定例委員会 (6月26日)

議案 (0)

報告 (3)

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育・中央公民館事業について
- ・ 図書館事業について

7月定例委員会 (7月17日)

議案（１）

- ・ 平成３１年度使用中学校道徳教科用図書採択について

報告（３）

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育・中央公民館事業について
- ・ 図書館事業について

８月定例委員会（８月２９日）

議案（２）

- ・ 平成３１年度における特別支援学級（肢体不自由）で使用する小学校教科用図書採択について
- ・ 智頭町特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部改正について

報告（４）

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育・中央公民館事業について
- ・ 図書館事業について
- ・ 教育委員会執行事務の点検と評価について

９月定例委員会（９月２０日）

議案（２）

- ・ 準要保護児童生徒の追加認定について
- ・ 特別支援教育就学奨励費の認定について

報告（４）

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育・中央公民館事業について
- ・ 図書館事業について
- ・ ９月議会一般質問について

１０月定例委員会（１０月２４日）

議案（１）

- ・ 準要保護児童生徒の追加認定について

報告（３）

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育・中央公民館事業について
- ・ 図書館事業について

１１月定例委員会（１１月２７日）

議案（１）

- ・ 平成３１年度からの中学校弱視特別支援学級の設置について

報告（３）

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育・中央公民館事業について
- ・ 図書館事業について

協議（１）

- ・ 教育を語る会について

12月定例会（12月17日）

議案（１）

- ・ 平成３１年度就学援助費児童生徒の認定について

報告（３）

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育・中央公民館事業について
- ・ 図書館事業について

協議（１）

- ・ 総合教育会議について

1月定例委員会（1月23日）

議案（１）

- ・ 第２次智頭町子ども読書活動推進計画の承認について

報告（３）

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育・中央公民館事業について
- ・ 図書館事業について

2月定例委員会（2月18日）

議案（１）

- ・ 平成３０年度智頭町教育委員会表彰について

報告（３）

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育・中央公民館事業について
- ・ 図書館事業について

協議（１）

- ・ 総合教育会議について

3月定例委員会（3月12日）

議案（4）

- ・ 平成31年度学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
- ・ 智頭町児童生徒通学費補助金交付要綱の一部改正について
- ・ 智頭町部活動の在り方に関する方針の承認について
- ・ 平成30年度末教職員人事異動について

報告（4）

- ・ 学校教育について
- ・ 社会教育・中央公民館事業について
- ・ 図書館事業について
- ・ 3月議会一般質問について

3月臨時委員会（3月28日）

議案（10）

- ・ 智頭農林高等学校生徒下宿費補助金交付要綱の制定について
- ・ 智頭町学校給食費補助金交付要綱の制定について
- ・ 智頭町就学援助費事務取扱要領の一部改正について
- ・ 智頭町病児・病後児保育事業実施要綱の一部改正について
- ・ 智頭町森のようちえん保育料軽減費補助金交付要綱の一部改正について
- ・ 智頭町子育て支援ネットワーク協議会設置要綱の一部改正について
- ・ 平成31年度スクールソーシャルワーカーの委嘱について
- ・ 平成31年度早期支援コーディネーターの委嘱について
- ・ 智頭町スポーツ推進委員の任命について
- ・ 智頭町教育ビジョン二次改訂の承認について

報告（1）

- ・ 平成30年度末教職員人事異動について（追加）

(資料)

教育委員会事務局主管の委員会の開催状況（詳細）

* 智頭町スポーツ推進委員協議会（12回）

開 催 平成30年 4/4、5/2、5/30、7/11、8/2、9/5、10/3、11/7、11/28
平成31年 1/8、2/5、3/6

議 題 ・各種事業打合せ及び事後協議

* 智頭町青少年育成指導員協議会（8回）

開 催 平成30年 4/21、5/25、6/20、7/13、9/21、10/30、11/14
平成31年 3/22

議 題 ・各種事業打合せ及び事後協議

* 智頭町立智頭図書館協議会（2回）

開 催 平成30年5月31日（木）

説 明 平成30年度智頭町立智頭図書館事業について
新図書館建設事業について

議 事 智頭町の図書館サービスについて

開 催 平成31年2月28日（木）

説 明 平成30年度智頭町立智頭図書館事業報告
新図書館建設事業について

議 事 平成30年度図書館事業について

* 智頭町学校給食センター運営委員会（1回）

開 催 平成31年3月28日

議 題 役員の選出について

平成30年度学校給食の実施状況について

平成31年度学校給食費及び食数について